



LOT.01 夜の門前

山中翔

東京藝術大学大学院美術研究科芸術学専攻

近代までに培われた都の風情と現代の営みが共存する風景として描きました。街並みだけでなく日本画の制作様式の中にも過去と現代が共存しています。

紙本着彩

410×318mm (額有)



LOT.02

握龍

ネイネイ

多摩美術大学博士後期課程美術専攻

西本願寺に刻まれた龍と、時代を超えて現れる少女。二つの象徴は、伝承と革新を示し、過去と現在、そして未来をつなぐ希望の記号である。

アクリル絵具、キャンバス、パネル、銀箔

530×530mm



LOT.03

山水図

高畑 彩佳

京都芸術大学大学院ペインティング領域日本画専攻

「人は見ている。」そう言われて育った。
日常の中に静かに存在する侘しいものたちの
傍を通ると、何かに見られているような感覚
を覚える。神仏か、隣人か。あるいは己自身の
目か。

ガンニークロス、ボローニャ石膏、
兎膠、箔下砥粉、銀箔、木炭

480×230×20mm



LOT.04 来たる

村田遥香

多摩美術大学日本画専攻

門前町を行き交う人々の姿を、
チューリップの花に重ね合わせて描いた作
品。

和紙に墨、岩胡粉

158×455mm



LOT.05 行く

村田遥香

多摩美術大学日本画専攻

門前町を行き交う人々の姿を、
チューリップの花に重ね合わせて描いた作
品。

和紙に墨、岩胡粉

158×455mm



LOT.06

トモニナル

ミヤチアキコ

京都造形大学芸術学科日本画専攻

理不尽だらけのこの世界だけれど、誰かが誰かに愛を注ぎ、共感し、形がなくても、祈りとしてそこに在る。

岩絵具、銀箔、金箔、麻紙

340×340mm



LOT.07

ソノトキマデ

ミヤチアキコ

京都造形大学芸術学科日本画専攻

古くから続く門前町の中に、中にある新しい景色、新しい世界をつくりだす事があるのではないだろうかと思い始めた。

岩絵具、銀箔、金箔、麻紙

340×340mm